

2025 年度

SGT 活動レポート

Flower Arrangement

3月21日(土)10:45から12:30まで物理実験室・化学実験室を会場にSGT Flower Arrangementが開催されました。講師は、(株)村松園芸の村松文彦先生です。村松先生は、初めは大学で演劇を学ぶために東京の大学を目指したそうです。しかしお父様が油絵を描かれていたため大学では日本画を専攻しました。在学中、社会に出る前に世界を知りたいとの思いから約1年半にわたり世界を旅したことがきっかけでFlower Designに興味を持ち、この世界にお入りになったと聞いています。これまでJFTD Japan Cup 優勝、Inter Flora World Cup 優勝など輝かしい受賞歴があり、浜名湖花博のProduceをされたり、NHKの教育番組の趣味の園芸の講師なども務められました。近年ではYouTubeの動画配信、さらにMyanmarなど海外でもご活躍されています。本校のでもSGTの講師として何度も講座を開講して下さっています。

さて講義ですが、本講座は2部に分かれており、最初は村松先生によるDemonstration、次に生徒による作品制作へと続きます。先生はまず3つの作品を技術的なお話を交えて作って下さいました。最初にStanding Straussと呼ばれるドイツ式の花束を作って下さいました。Spiralと呼ばれる技法を使い、同じ方向に花をまとめたBouquetを作っていきます。茎を麻紐で縛る縛り方は、静岡の花の生産者と同じ縛り方をされているそうです。また先生が講師として回られた29もの国のなかで多くの国のFlower Designerがこの縛り方を学び、Bouquetを縛るようになったそうです。Snowball、Green Truffe、Sweet pea、Sweet Avalanche、Alstroemeria、Freesia、Gerbera、Delphinium、Baby breathなどHolland経由に日本に輸入されているものや県内で生産されている花を中心にそのほかに二つの作品を作っていただきました。

次に生徒たちによる作品制作です。丸いパンケーキ型の給水スポンジに生徒たちは花を生けて行きます。春らしい薄い色合いのSweet peaやGerbera、Baby breathなどを中心に先生のAdviceをいただきながら一人一人作品を作りました。



まずは自己紹介です。



Standing Strauss を作ります。



丸い花束ができました。



花束は意外に軽いです。



Orange 色の Tulip が綺麗です。



Snowball の触感を確かめます。



紫色の Sweet pea がきれいです。



完成です。



作品見本です。



茎を短くはさみで切ります。



色合いを考えています。



流石、華道部! 早いんですね。

